

35 週 第七戒

質問 70. 第七戒は、何ですか。

答え I 第七戒は「姦淫してはならない。」です。

質問 71. 第七戒が、求めるのは何ですか。

答え I 第七戒が求めるのは、心と発言と行動において、私たち自身と、隣人の純潔を保たせなさいということです。

質問 72. 第七戒が、禁ずるのは何ですか。

答え I 第七戒が禁じているのは、あらゆる淫らな考えと言葉と行動です。

解説

自然の光

姦淫してはならないとは、十戒が与えられる以前に、すでに人間の良心に刻まれた神の御心です。旧約聖書においてその例を簡単に探すことができます。アビ

メレク王は、アブラハムの妻サラを連れて行きました。勿論、アブラハムが自分妻を妹だと言ったので取ったのです（創 20:2）。ところが、神が、その晩にアビメレクに現われて、「彼女は夫のある身である」（創 20:3）と仰せられます。それに対してアビメレクは恐れ、サラをアブラハムに返ししながら、「あなたは我々に何をしますのですか。あなたに対して私がどんな罪を犯したために、あなたは私と私の国とに、大きな罪を負わせるのですか。あなたはしてはならぬことを私にしたのです。」（創 20:9）と告げたのです。つまり、異邦人であっても、姦淫は大罪であることを知っていたということです。

神は、偶像崇拝を憎まれますが、偶像崇拝には淫行を行うのが含まれます。それで「淫行と古いぶどう酒と新しいぶどう酒が思慮を奪う。」（ホセア 4:11）と責めたのです。

このように、自然の光の中で姦淫することが、罪だという事実を知っていた例が、私たち韓国の三国時代の法の規定でも探すことができます。百済時代の時、姦淫した女は夫の家の奴隷になりました。

第七戒が、求めること

先ず私たちは、肉体の情欲から自分の体を清潔に維持しなければなりません（Ⅰテサロニケ 5:4）。私たちの体を神に受け入れられる、聖い、生きた供え物として捧げるために体を清潔に維持しなければなりません（ロマ 12:1）。私たちの体は神に栄光を帰する道具であり、聖霊の宮だからです（Ⅰコリント 6:19）。私たちの情欲は十字架につけられ死んでいて、私たちは義の道具となったので、ますます聖められることを追求すべきです（ロマ 6:13）。もし情欲によって自分の体を汚すなら、神は私たちの体を滅ぼすでしょう（Ⅰコリント 3:17）。私たちの心は純潔であるべきです。これは、人との間でも互いに純潔にし、純潔な心で交わり

をすることを意味します（Ⅰペテロ 1:22）。情欲が私たちの心に入ってくるようになれば、結局、罪を生み出すので（ヤコブ 1:15）、私たちは心に不純な思いさえ持つのを避けるべきです（Ⅱテモテ 2:22）。

私たちは、徳を立てる言葉と純粋な言葉を使うことで、言葉から不潔さを避けられます（ゼパニヤ 3:9）。また、私たちの行動から純粋性を維持しなければなりません（Ⅰペテロ 3:2）。行動の純粋さには、慎ましい身なりで着こなすことも含まれます（イザヤ 3:16、Ⅰテモテ 2:9）。自分の目を清潔に守るためには、自分の目と約束すべきです（ヨブ 31:1）。私たちはすでに十字架に自分たちの情欲を釘つけてしまったので（ガラテヤ 5:24）、私たちの考えと精神に汚れが入って来ないように、常に清潔を維持すべきです（Ⅱコリント 7:1）。

第七戒が、禁ずること

姦淫は、神に敵対する大変、大きな罪です。それで旧約聖書では、姦淫する者は殺しなさいと命じています（レビ記 20:10）。新約聖書でも、姦淫する者は神の国を相続することはできないと教えています（Ⅰコリント 6:9）。姦淫罪の深刻性についてイエスさまは、情欲を抱いた心で女を見る者は、すでに姦淫を犯していると語られました（マタイ 5:28）。淫らな考えが罪を犯すようにさせるからです。従って、私たちは、不純な思いと肉の情欲が私たちの心に入ってくるないように警戒すべきです（コロサイ 3:5）。姦淫罪は体で犯す罪でもあります、霊魂に対する罪です（Ⅰペテロ 2:11）。これは、ソドムが、神の審判を呼び起こさせた罪です（エゼキエル 16:39）。

私たちは肉体の情欲を避けるべきです（Ⅰペテロ 2:11）。淫らな言葉や愚かな言葉、下品な冗談は避けるべきです（エペソ 5:4）。また、このような行動をする者たちを避けるべきです（エペソ 5:11）。